

事業報告書

第9期

自 平成29年5月1日
至 平成30年4月30日

特定非営利活動法人
瀬戸内乳腺事業包括の支援機構

岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学病院内

平成30年度事業報告書

平成29年5月1日から平成30年4月30日まで

特定非営利活動法人
瀬戸内乳腺事業包括的支援機構

1 事業実施の成果

本法人は乳腺疾患の診療従事者が行う教育と研究に関する事業を包括的に支援し、地域医療の発展と、市民における健康の維持と増進に寄与することを目的として設立された。本法人は目的達成のため、特定非営利活動として①専門医育成支援事業 ②癌登録支援事業 ③臨床研究支援事業 ④組織バンク支援事業 を、その他の事業として⑤乳腺疾患に関わる広報事業を実施する。

前事業年度の成果として、①専門医育成支援事業では平成29年11月18日に研修医・医学部生を対象としたAutumn campを開催した。同企画では、乳腺専門医を目指す研修医・医学部生12名が参加し、乳腺専門医がマンモグラフィと読影法の指導、乳房エコーのハンズオンセミナー、乳腺専門医のキャリアパスに関する講演などを実施した。また、同年9月30日には第1回フォローアップミーティングを開催した。同会では平成24年より毎年開催している近隣医療施設の医師・看護師・薬剤師を対象とした、乳癌チーム研修会にご参加いただいたご施設より研修後のチーム医療の取り組み・課題・今後の展望等のディスカッションを行った。また乳癌診療に係わる講義も実施した。②癌登録支援事業では累積登録症例はおよそ7,000例に達し、着実な成果が得られている。③臨床研究支援事業では、現在第Ⅱ相臨床研究6件、ランダム化比較試験1件、前向きコホート研究2件が進行中である。④組織バンク支援事業では、組織バンク運営に関する内規が作成され、多施設共同の組織収集システムを構築中である。⑤乳腺疾患に関わる広報事業では、乳がんに関する最新情報をホームページに公開し、多数のアクセスが確認されている。また、平成29年10月にはピンクリボン岡山を開催し、ピンクリボンをイメージしたライトアップやティッシュ・チラシ配布、また山陽新聞に特集記事を掲載していただき、乳がん検診普及啓発活動を行った。平成29年10月14日には山陽新聞社にて県民公開講座、さん太広場にてマンモグラフィ無料検診や専門医による相談会を開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人 数	支出額 (千円)
専門医育成支援 事業	Autumn camp (研修医・医学生を対象とした乳癌診療に関する講習会)	平成29年11月18日	倉敷市	本法人の教育委員会のメンバー約10名	研修医・医学部生12名	938
	瀬戸内乳がんチーム研修会「フォローアップミーティング」	平成29年9月30日	岡山コンベンションセンター	本法人の事務局3名、岡山大学病院のスタッフ20名	近隣医療施設の医師・薬剤師・看護師60名	
癌登録支援事業	乳癌共用データベースの構築による疫学情報収集システム「瀬戸内乳癌登録」の運用開始。2015年乳癌登録集計結果をホームページにて公開中である。	平成23年4月1日より継続運用中	参加各医療施設	実施に約80人が従事	集計した疫学データをホームページにて公開しており不特定多数の方の受益が見込まれる	123

臨床研究支援事業	現在第Ⅱ相臨床試験を6件、ランダム化比較試験1件、コホート研究2件を進行中である。	平成22年6月より継続進行中	各参加医療施設	試験の計画に約10名、試験の実施に約80名が従事	将来的には、不特定多数の転移乳癌患者の受益となる	3,409
組織バンク支援事業	本年度は該当事業なし。検体収集の計画を作成中である。					0
乳腺疾患に関わる広報事業	乳腺疾患に関わる最新情報を広く市民に公表することを目的にホームページを公開中である。	平成24年8月にホームページを公開し、以後継続中	インターネット上	本会の広報委員会メンバー、及び事務局員の10名	不特定多数の市民	2,815
	ピンクリボン岡山（乳がん検診普及啓発活動、マンモグラフィ無料検診、専門医による相談、県民公開講座）	平成29年10月1日～30日	山陽新聞社本社、さん太広場	本会の会員、及び事務局員約10名が従事	不特定多数の市民	